

高性能断熱耐火
硬質木毛セメント板・イソシアヌレート・せっこうボード 複合板

ショーカラボード Wi

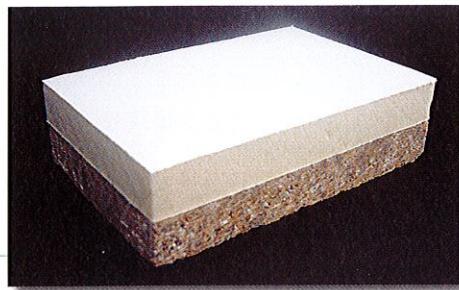
外壁1時間耐火構造(非耐力) FP060NE-0077



株式会社 栄進工業

安全で快適な空間を造ります

次世代省エネルギー基準をクリアする製品の第2段として、高性能断熱材イソシアヌレートフォーム（硬質ウレタンフォーム）との組合せでの外壁1時間耐火構造（非耐力）の開発に成功しました。



特徴

次世代省エネクリア —— 地球温暖化を防ぐために1997年京都に於いて各国毎に主としてCO₂の排出量を削減するという数値目標を定めました。この数値目標を達成するために、建築物の高断熱化を推進し、エネルギー資源の削減、二酸化炭素の排出量を減少し、地球温暖化を防止します。

環境配慮型建材の認定 —— 平成13年4月より国などによる環境物品の調達の推進に関する法律が施行され、「木毛セメント板」は環境負荷低減型建材の代表としてグリーン購入法に指定されました。また、循環資源を使用した商品として鳥取県認定グリーン商品の認定を受けています。

無公害 —— アスベストなど健康を害する有害物質は一切使用しておりません。又、ホルムアルデヒド等放散する心配もありません。

断熱性向上 —— 断熱性抜群のイソシアヌレートフォームと硬質木毛セメント板を複合したことにより、驚異の断熱性能を発揮しました。屋根と壁両方ご使用いただければ外断熱工法に匹敵します。

諸性能向上 —— 硬質木毛セメント板とイソシアヌレートフォーム、せっこうボードを複合したことにより耐火性能、音響性能、強度等も向上しています。

規格性能 規格寸法 910×1,820mm

| 厚 [mm] | | | 曲げ破壊荷重 [N] | ビス保持力 [N] | 熱抵抗 [m ² K/W] |
|-----------|----------|---------|---------------|--------------|-----------------------------|
| 硬質木毛セメント板 | イソシアヌレート | せっこうボード | | | |
| 25 | 10 | 9.5 | 2,700 | 2,000 | 0.728 |
| | 15 | | | | 0.966 |
| | 20 | | | | 1.204 |
| | 25 | | | | 1.442 |
| | 30 | | | | 1.680 |
| | 40 | | | | 2.156 |
| | 50 | | | | 2.632 |

※強度についてはボードのみのものであり、安全率等は考慮していません。

遮音性能

硬質木毛セメント板25mm + イソシアヌレートフォーム20mm + せっこうボード9.5mm

| | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|
| 周波数 | [Hz] | 125 | 250 | 500 | 1,000 | 2,000 | 4,000 |
| 透過損失 | [dB] | 22.3 | 27.5 | 32.9 | 38.3 | 43.8 | 49.4 |

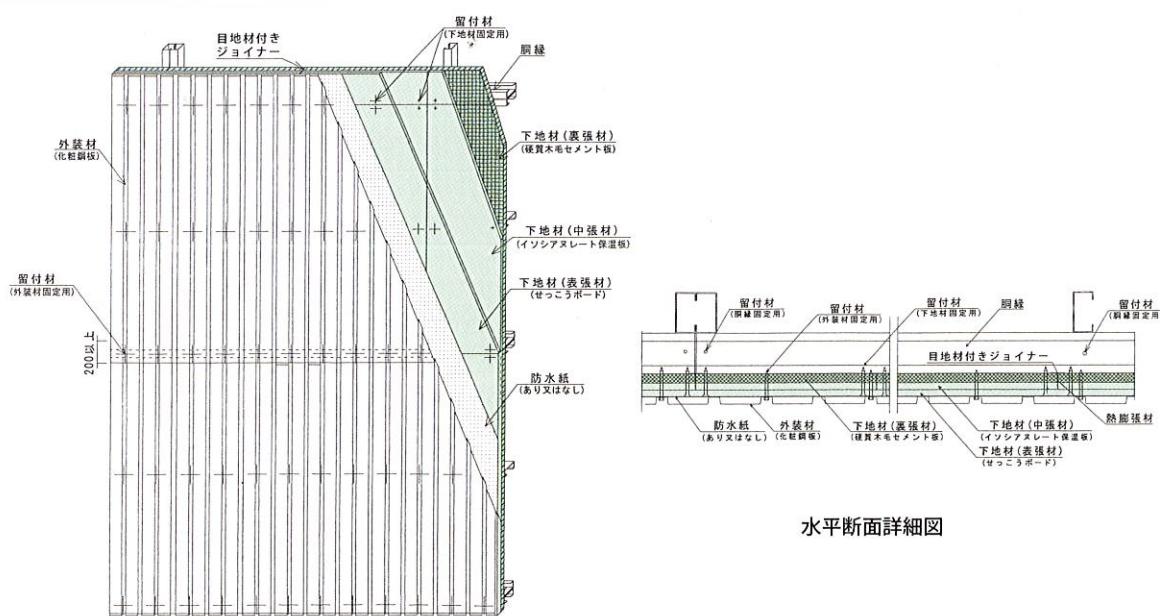
構成材料

| | |
|--------------------|--|
| 外装材 | 鋼板：厚0.35mm以上、働き幅780mm以下、リブ高さ15mm以上 |
| | ①塗装溶融亜鉛めっき鋼板 |
| | ②塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板 |
| | ③塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 |
| | ④溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板 |
| | ⑤溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 |
| | ⑥電気亜鉛めっき鋼板 |
| | ⑦塗装ステンレス鋼板 |
| | ⑧高耐候性圧延鋼材 |
| | ⑨塩化ビニル樹脂金属積層板 |
| ※スパンドレルはご使用になれません。 | |
| 下地材 | 硬質木毛セメント板 厚25mm以上、密度0.9g/cm ³ |
| | イソシアヌレートフォーム 厚10~75mm、密度30~55kg/m ³ |
| | せっこうボード 厚9.5mm以上 |
| ジョイナー | 形状：目地材付T型 ジョイナー材質：溶融亜鉛めっき鋼板 目地材材質：黒鉛含有エポキシ樹脂シート 厚1.0mm以上 |

施工方法

- ※柱（間柱）間隔は構造設計等により安全性を確認して下さい。
- ※胴縁間隔は910mm以下として下さい。
- ※屋内側から硬質木毛セメント板、イソシアヌレート、せっこうボードの順に取り付けて下さい。
- ※縦目地部分には目地材付T型ジョイナーを使用して下さい。
- ※下地材施工後は速やかに防水材を100mm程度重ねながらタッカ一等で仮止めして下さい。
- ※外装材は縦張りを原則とし、胴縁に一山おきに固定して下さい。縦方向の重ね代は200mm以上とし、横向の重ね代は一山以上として下さい。

構造説明図



注 意 事 項

保管上の注意

- ・屋内の平滑なところに保管して下さい。やむをえず屋外に保管する場合は、シートなどにより風雨や水漏れを防止して下さい。
- ・積み上げ高さは3m以下として下さい。
- ・火気には十分に注意して下さい。

移動上の注意

- ・移動の際は、ワイヤーの食い込みなどにより傷ついたり欠けたりしますので、損傷の無いよう十分に注意して下さい。

施工上の注意

- ・施工は施工方法に従って行って下さい。
- ・下地の施工後は速やかに防水材、表面材を施工して下さい。
- ・切断時には粉塵が発生しますので、粉塵吸引装置を設置し、作業服を着用の上、防塵マスク、防護メガネ等を使用して下さい。
- ・粉塵が目に入った場合は、こすらずきれいな流水で洗浄して下さい。また、粉塵を吸引した場合はうがいをし、洗い出して下さい。
- ・ご不明な点がございましたら、メーカー又は特約店にお問い合わせ下さい。

【製 造 元】

株式会社 **栄進工業**

日本工業規格適合性認証工場・国土交通省準不燃材料認定工場
〒689-0603 福井県東伯郡湯梨浜町小浜756-3
TEL(0858)34-2711 FAX(0858)34-2712
E-mail:eishin@mail2.torichu.ne.jp

2017.10